

## 溝田誠吾 教授 履歴・業績



## 溝田誠吾 教授 履歴・業績

溝田誠吾（みぞた せいご）

1943年 8月 佐賀県生まれ

### 【略 歴】

#### 【学 歴】

1970年 3月 長崎県立国際経済大学経済学部卒業

1975年 3月 立命館大学大学院経営学研究科博士課程 単位取得修了

#### 【職 歴】

1975年 4月 専修大学経営学部専任講師

1978年 4月 専修大学経営学部助教授

1978年 7月 経営学博士取得（立命館大学）

1981年 4月 博士前期課程担当 経営形態論講義・演習担当

1984年 4月 同教授

1993年 4月 博士後期課程担当 経営形態論講義・演習担当

2000年 4月 経営研究所所長（～2001年 3月）

2013年現在 同教授 大学院 博士前期・後期

2000年 4月 体育部部长（～2004年 3月）

2001年 4月 相撲部部长（～2014年 3月）

国内留学： 名古屋市立大学経済学部（1985年 4月 1日～1986年 3月 31日）

海外留学： 香港大学（1994年 9月 1日～1995年 8月 31日）

中期国内： 名古屋外国語大学（2009年 4月 1日～9月 10日）

〔非常勤〕

横浜商科大学

武蔵大学

新潟経営大学

上海外国語大学

北京財経大学

東南大学（中国・南京）

### 【主要業績】

#### 【著書】

〔単著〕

1982年 5月 『アメリカ鉄鋼独占成立史』，御茶の水書房。

1982年 5月 『アメリカ鉄鋼独占成立史』，（上・下巻）御茶の水書房。

- 1983年 8月 『造船業界』, 教育社.
- 1994年11月 『造船重機械産業の企業システム』, 森山書店.
- 1997年 1月 『造船重機械産業の企業システム』, (第2版) 森山書店.
- 2009年10月 『航空機産業論』, 専大書房.  
『航空機産業論』, (2版・プリント版)
- 2010年 4月 『「小さな」世界企業』, 専大書房.
- 2011年12月 『「小さな」世界企業』, (2版) 専大書房.
- 2012年 4月 『「小さな」世界企業』, (プリント版) 専大書房.
- 2012年 4月 『「小さな」世界企業』, (3版) 専大書房.

〔編著〕

- 2002年 6月 「民間航空機エンジンの国際共同開発と日本メーカーの競争力—国際寡占3社と石川島播磨重工業」 溝田誠吾編著『情報革新と産業ニューウェーブ』, 専修大学出版局.

〔共著〕

- 1976年 4月 「鉄鋼業における系列・下請企業」 上林貞次郎編『中小零細企業論』, 森山書店.
- 1982年 5月 『中小零細企業』, (第2版) 森山書店.
- 1985年 4月 「生産自動化の現段階—日産自動車のケース」(2章) 坂本和一・下谷政弘編『技術革新と企業構造』, ミネルヴァ書房.
- 1986年 9月 「モルガン商会と投資銀行」, (第3章) 塩見治人・谷口明丈・溝田誠吾・宮崎信二編『アメリカ・ビックビジネス成立史—産業的フロンティアの消滅と寡占体制』, 東洋経済新報社.
- 1986年 9月 「U・S・スチール社と製鉄業」(第4章) 塩見治人・谷口明丈・溝田誠吾・宮崎信二編『アメリカ・ビックビジネス成立史—産業的フロンティアの消滅と寡占体制』, 東洋経済新報社.
- 1987年 3月 「企業集団」(7章) 車戸實編『企業形態論』, 八千代出版.
- 1987年 3月 「企業形態論研究の今日的課題」(9章) 車戸實編『企業形態論』, 八千代出版.
- 1991年 2月 「造船」(4章) 米川・下川・山崎編『戦後日本経営史 第I巻』, 東洋経済新報社.
- 1991年10月 「鉄鋼業の構造変化」三輪芳郎編『現代日本の産業構造』, 青木書店.
- 1998年12月 「国際共同開発と国際共同生産—航空宇宙産業におけるボーイング社と三菱重工業」(6章) 塩見治人・堀一郎編『日米関係経営史』, 名古屋大学出版会.
- 1999年 4月 「VIII グローバル競争下の日本鉄鋼業」大西勝明・二瓶敏『日本の産業構造—ポスト冷戦期の展開』, 青木書店.

【論文】

〔社会科学研究所〕

- 1978年 3月 「U・S・スチール・トラストの形成過程—第2次製品市場の支配—アメリカ鉄鋼独占体形成史」『社会科学研究所年報』, 第12号.
- 1977年 8月 「『企業類型』と独占の成立—アノリカ鉄鋼独占体形成史の総括の基本視点」『社会科学研究所月報』, 第168号.
- 1978年 3月 「U S Steel Trust の成立—アメリカ鉄鋼独占体形成史 (VII)」『社会科学研究所月報』, 第175号.
- 1983年 1月 「造船業の企業類型」『社会科学研究所月報』, 第234号.
- 1984年10月 「自動車工業における生産自動化と生産管理システム」『社会科学研究所月報』, 第255号.
- 1989年11月 「造船業の多角化戦略と戦略グループの形成過程—戦後造船企業経営史 (1)」『社会科学研究所

月報』, 第316号.

- 1990年3月 「関連・非関連製品多角化と事業部制組織の導入—戦後造船経営史(3)」『社会科学研究所月報』, 第320号.
- 1991年2月 「関連多角化戦略と事業部制の導入—戦後造船経営史(2)」『社会科学研究所月報』, 第331号.
- 1997年9月 「航空機産業のグローバル競争」『社会科学研究所月報』, 第411号.
- 1997年12月 「『小さな』世界企業—その独自技術の製品・製品技術の絞り込み, 海外構想力と経営者」『社会科学研究所月報』, 第414号.
- 2005年1月 「民間航空機産業のグローバル『多層』ネットワーク」『社会科学研究所月報』, 第499号.
- 2008年3月 「我が国の地域産業集積と『小さな』世界企業の成長過程の実証研究」『社会科学研究所月報』, 第537号.
- 2012年1月 「東アジアの鉄鋼業とビジネスモデル」『社会科学研究所月報』, 第583号.

〔経営研究所〕

- 1976年 「神奈川県における企業の実態調査」.
- 1977年 「『人間と企業』研究 III 下請問題」『経営研究所年報』, 第1号.
- 1979年 「VIII『人間と企業』の研究 VIII-3 わが国造船業における下請企業の存在構造—長崎県下の造船業下請を中心に」『経営研究所年報』, 第3号.
- 1983年 「V 現代企業論研究 V-1 自動車産業の国際的再編性」『経営研究所年報』, 第7号.
- 1983年 「『現代企業論研究』II 現代企業集団の理論的実証研究」『経営研究所年報』, 第7号.
- 1987年2月 「『アメリカ・ビックビジネス成立史』をめぐって(東洋経済新報社1986年刊)」『経営研究所所報』, 第72号.
- 1990年3月 「非関連多角化の展開と事業部制の再検討(1974~現在)—戦後造船経営史(4)」『経営研究所所報』, 第89号.
- 1993年3月 「『小さな』世界企業の成長過程の実証研究(1)」『経営研究所所報』, 第105号.
- 1993年12月 「『小さな』世界企業の成長過程の実証研究(2)」『経営研究所所報』, 第108号.
- 2000年2月 「特集“第2回地域と大学を結ぶセミナー”経営フォーラム『ベンチャービジネスとアジア』」『経営研究所所報』, 第137号.
- 2003年3月 「『小さな』世界企業の成長過程の実証研究I. ノーリツ鋼機」『経営研究所所報』, 第154号.

〔その他 論文〕

- 「新日本製鉄」毎日新聞社『エコノミスト』
- 2005年2月 「鉄鋼業とカーネギー」共著, 経営史学会編『外国経営史の基礎知識』, 有斐閣.
- 2006年8月 名市大経済フォーラム「中国鉄鋼産業の新局面」プログラム.
- 2008年3月 「『小さな』世界企業の存在とその成長要因」『社会科学研究所月報』, 第537号.
- 2008年3月 「『タニタ』の成長過程の研究」『社会科学研究所月報』, 第537号.

〔科学研究費とその他の研究費〕

- 1991年 わが国の「小さな」世界的大企業の成長過程に関する実証研究, 社団法人・日本経営協会『経営科学研究奨励金』.

- 平成16～17年度 中部圏の産業集積と「小さな」世界企業の成長過程の実証研究, 代表) 溝田誠吾.
- 平成18～19年度 わが国の地域産業集積と「小さな」世界企業の成長過程の実証研究, 代表) 溝田誠吾.
- 平成19～20年度 東アジアの物流改革の実証研究, 代表) 田口冬樹 連携研究者) 溝田誠吾.
- 平成19～21年度 鉄鋼業における「チャンドラー・モデル」の移転・変容と東アジア国際分業の動態分析, 代表) 塩見治人 連携研究者) 溝田誠吾.
- 平成22～24年度 世界鉄鋼業における『トランス・ナショナル』企業への志向とグローバル再編の動態分析, 代表) 堀一郎 連携研究者) 溝田誠吾.

#### 〔学内研究助成〕

- 1980年 「低成長」経済下の下請中小企業と地域経済の構造変化.
- 1982年 現代企業の実証的・理論的研究—「日本的経営論」によせて.
- 1983年 アメリカ巨大企業における価格政策の展開—独占成立期から1930年代まで.
- 1987年 円高・不況下の下請中小企業の構造変化の実証研究.
- 1988年 円高・不況下の下請中小企業の構造変化.
- 1990年 巨大企業の事業構造の転換と下請中小企業の再編成.
- 1992年 「小さな」世界的大企業の研究.
- 1993年 戦後日本の「小さな世界企業」の研究.
- 1996年 「小さな」世界企業の成長の実証研究.
- 1998年 グローバルロスタンダード企業への成長戦略.
- 2000年 「小さな」世界企業の成長戦略—ライバル企業との対抗戦略を中心.
- 2001年 小さな「世界企業」のライバル企業の成長戦略の比較実証研究.
- 2004年 グローバルマーケットにおける「トップシェア」の企業の研究—バイオ分野を中心.
- 2005年 「小さな」世界企業の実証研究.
- 2007年 「小さな」世界企業の実証研究.
- 2008年 「小さな」世界企業の実証研究.
- 2010年 地域産業集積と「小さな」世界企業の成長過程の実証研究—バイオ・造船を中心.

#### 〔学内研究活動〕

2004年4月～2009年3月

「アジア諸国の産業発展と中小企業」『専修大学社会知性開発研究センター』(センター研究員産業担当).

#### 【学会活動】

- 日本経営学会  
日本産業学会  
日本中小企業学会  
日本ベンチャー学会  
日本経営史学会  
アメリカ経済史研究会

## 【学外活動】

経済産業省（元通商産業省）黄銅部会委員

朝日信用金庫「財団法人朝日中小企業経営情報センター」（評議員1996年～2012年）

日本鍛造協会「鍛造マネージャ育成塾」（指導員講師・科目長2001年～現在）

日本学術振興会 奨励研究部会委員（2006年～2007年）

特定非営利法人「日中 BOP 研究会」（理事長2010年～現在）

東日本学生相撲連盟 役員参与